

総合計画・総合戦略とは

1. 総合計画とは

総合計画とは、行政運営を計画的に進めていくためのもので、一般的にまちづくりの設計図と言われています。

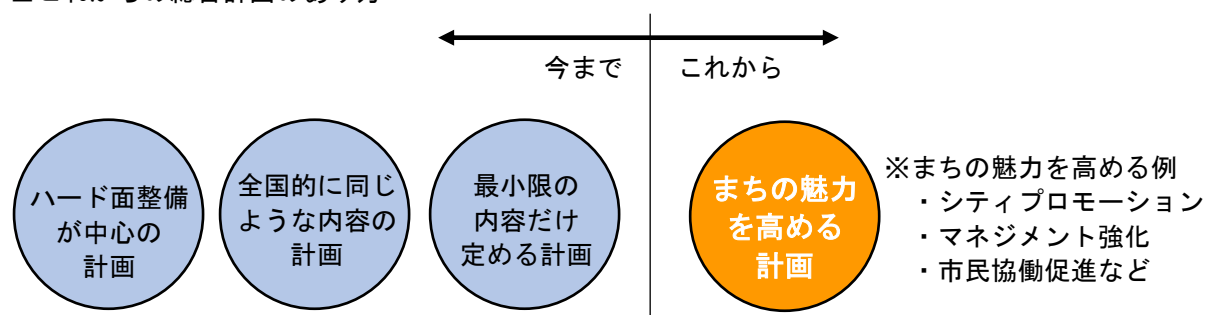
相生市では、総合計画に掲げた将来のまちの姿（将来像）を実現するため、大きな分野の政策方針（まちづくり目標）を定め、その方針に基づいて全ての分野の基本的な施策を定め、その施策に基づいて具体的な事業を決めて、優先順位を付けながら予算を確保し、まちづくりを進めています。

■総合計画のしくみ



今までは地方自治法において、各自治体に対して基本構想の策定が義務付けられていましたが、2011年の改正により基本構想の策定義務が撤廃されたため、現在はまちの魅力を高めることを重視した「オリジナルの総合計画」を策定する自治体が増えています。

■これからの総合計画のあり方



2. 総合戦略とは

総合戦略とは、全国的に進む人口減少とまちの衰退を食い止めるため（地方創生）、「まち」「ひと」「しごと」に視点を置き、行政をはじめ、市民、地域、団体、企業など市全体でまちの活性化に取り組む計画です。

相生市では、過去に最も人口が多かった 1974 年から 2015 年までの約 40 年間で、約 12,500 人の人口が減少しています。

このため、2014 年に制定されたまち・ひと・しごと創生法に基づき、2060 年までの人口の将来展望（目標人口）を示した「相生市人口ビジョン」と、目標人口の達成に向けてまちの活性化を図る「相生市地域創生総合戦略」を1つにした『相生市もっと活力上昇計画』を 2016 年 2 月に策定し、まちの活力の上昇に取り組んでいます。

この「相生市地域創生総合戦略」は、総合計画における基本計画と実施計画から、地域創生に向けて重点的に取り組むべき施策を取りまとめたものです。

- (1) 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、充実した教育環境をつくる
- (2) まちの魅力発信により、新しいひとの流れをつくる
- (3) 地域資源を活用したしごとをつくる
- (4) 将来にわたって安心して誇れるまちをつくる

第6次総合計画では、より相生市らしい計画とするため、地域創生総合戦略を総合計画の中に位置付けることで、まちの活力の上昇も一体的・重点的に進めていきます。

■総合計画と総合戦略のイメージ

